

スイトピア×イアマス連携展示「うごキズム」

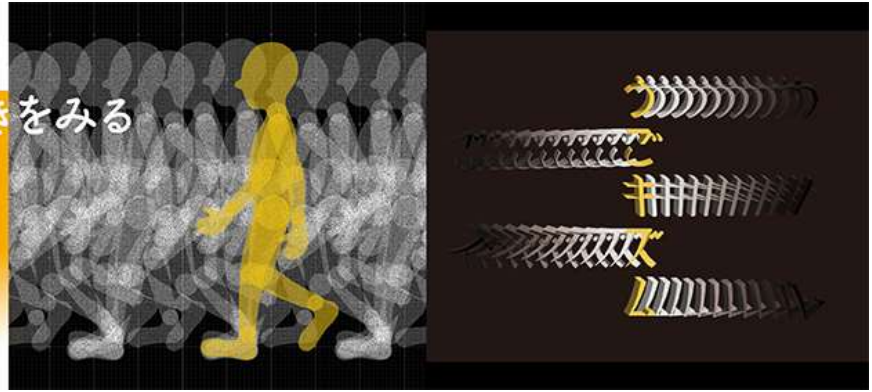
うごく・うごかす・うごきをみる

2024年9月28日(土) - 11月4日(月・休)

9時~17時(入場は16時30分まで)

アートギャラリー(学習館1階)

観覧無料



- 展覧会名 スイトピア×イアマス連携展示  
うごキズム～うごく・うごかす・うごきをみる～
- 会 期 2024年9月28日(土) - 11月4日(月・休)  
開館時間：9時～17時(入場は16時30分まで)  
休館日：毎週火曜日(祝日を除く)、10/16(水)
- 会 場 大垣市スイトピアセンター アートギャラリー (学習館1階)  
(岐阜県大垣市室本町5-51)
- 観 覧 料 無料
- 主 催 公益財団法人 大垣市文化事業団(大垣市指定管理事業)  
情報科学芸術大学院大学[IAMAS]
- お問い合わせ 公益財団法人 大垣市文化事業団 事業課 Tel.0584-82-2310

## 展覧会について

複合施設である大垣市スイトピアセンターでこれまで開催してきたメディアアート事業では、IAMASの教員・学生・卒業生の皆様に様々なかたちで協力を得て来ました。水のパビリオンでの水の流れをイメージした「リレーショナル・ポッド」の展示、コスモドームでの電子音響音楽のプラネタライブ、アートギャラリーでの水をテーマにしたグループ展「PLAY! WATER(S) -プレイ! ウォーターズ-」にも作品を出展、教員のクワクボリョウタ氏の個展を開催など。その他にも、大垣市文化事業団のロゴや館内パンフレット・サイン、展覧会等のチラシなど卒業生によるデザインがあります。

今回の展覧会では、IAMASの教員・学生による運動体設計プロジェクトメンバーが、「うごき」をテーマにした新作を発表します。会場内の作品は、自由に写真撮影・動画撮影をすることができます。あなたの目で見た時と、持っているスマートフォンなどの画面を通して見た時の世界、また、目線や撮影する高さが違う時、それぞれの世界はどのようにみえるのでしょうか?さまざまな視点から考えながら、見て、体験して、「うごき」について探っていきましょう。

動きは、私たちが世界に生き、自分自身を見つけるために不可欠な働きです。

生まれた瞬間から、私たちは自分の動きを通じて、自分がこの世界の一部であることを実感してきました。過去の人々も、動きを観察することで、世界の理解を深めてきました。さらに、動きを通じて、私たちは言葉を持たない生き物や無生物ともコミュニケーションをとることができます。

「うごキズム」は動きをテーマに、私たちの身体、世界との関わり、そして心のつながりを探る体験型の展覧会です。動く。動かす。動きを見る。様々な関わり方で動きの世界を探求しましょう。

IAMAS 運動体設計プロジェクト

## 展覧会の特徴

### —本展のために制作した新作 3 作品を紹介—

#### 1. うごキスト <うごく>

小さなディスプレイが繋がり大きく変身したディスプレイが会場内の壁面に広がります。目の前に立ったあなたの姿はどのように映し出されるでしょう？

…24 台のカメラで撮影した映像を、24 台のディスプレイがリアルタイムで映し出します。この仕組みにより、予想外の現象が生まれ、鑑賞者に斬新な体験を提供します。

#### 2. スマホスタジオ <うごかす>

あなたのスマートフォンを使って撮影した動画映像をお持ち帰りいただけます。自分の目で見た世界、あなたのスマートフォンが見た世界、どのように違って見えますか？

…スマートフォンを台車に載せて展示コースを走らせると、カメラだけが捉えられる独特の映像が記録されます。日常とは異なる視点からの映像体験を楽しめます。

#### 3. かんしょうこう <うごきをみる>

展覧会会場であるアートギャラリー・ガラスケース展示室の既存ガラスを生かした作品です。

…光が生み出す縞模様から物体の形が浮かび上がる展示です。この体験を通じて、私たちがどのように物の形を認識しているかを考察することができます。

#### ● スマホを持ってアートギャラリーへ！

本展覧会は、写真撮影・動画撮影が可能です。人の目でみえる世界、スマートフォンなどの撮影機器を通して見る世界、それぞれどのようにみえるのでしょうか？「うごき」について、考えながら探る展覧会です。当会場のための特別な空間を体験し、身近な「うごき」を見てみると新たな発見ができるかもしれません。水のパビリオンの魚たちが泳ぐ姿、夜の星空、空に浮かぶ雲、自動ドアやエレベーターなど、館内の「うごき」も探してみましょ。

## 情報科学芸術大学院大学[IAMAS]（イアマス）

岐阜県が 2001 年大垣市に開学した博士課程のみの大学院大学です。科学的知性と芸術的感性の融合を建学の理念に掲げ、先端的な芸術表現など社会に還元する高度な表現者の育成を目指し、様々な分野の学生たちによるユニークな研究や、国内外で活躍するアーティストを輩出しています。

<https://www.iamas.ac.jp/>

## 運動体設計プロジェクト メンバー

教員：赤松 正行、クワクボリョウタ、瀬川 晃      学生：榊原 礼彩、芹澤 碧、中村 駿

## 大垣市スイトピアセンター

文化会館・学習館(含こどもサイエンスプラザ)、図書館を総称した名称で、市民一人ひとりが生涯を通じて自己啓発・自己研修に努め、自己実現を図り、生き甲斐のある生活を送るため、生涯学習の中核として設立されました。スイトは「水の都」、ピアは「ユートピア(理想郷)」の中のトピアで「場所」となっており、その名のとおり、水の都「大垣」の中心となる生涯学習施設です。

大垣市文化事業団は、文化会館・学習館の指定管理者として、施設の運営とともに、文化芸術事業の推進に取り組んでいます。

## 大垣市文化事業団ロゴ



**SUITOPIA CENTER**  
OGAKI CITY CULTURAL FOUNDATION

「Water and Culture」・・・「水都」にかける思いと「不易流行」の概念を 17 個の水玉に託す

松尾芭蕉が『奥の細道』紀行で体得したとされる、不変の真理を知らなければ基礎が確立せず、変化を知らなければ新たな進展がないという意味の概念「不易流行」。

このロゴは、豊かな水都を表現するための水玉模様を、俳句の五七五＝17音を不易流行の象徴として、17個のドットで形成しています。大垣市民の水の理想郷としての旗印であると共に、不易流行を心に、大垣市の文化創造に貢献する当財団のスピリットを表すものです。

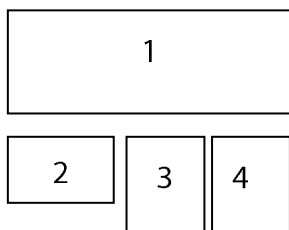
CI・VI作成

小島 邦康(株式会社アーティカル)

IAMAS(岐阜県立国際情報科学芸術アカデミー) マルチメディア・スタジオ科 卒業生

## 広報用画像について

広報用画像のご提供については、展覧会事務局までお問い合わせください。



- 1 スマホスタジオ
- 2 うごキスト
- 3 かんしょうこう
- 4 展覧会メインヴィジュアル

- クワクポリョウタ+榎原 礼彩+中村 駿+芹澤 碧
- 赤松 正行+芹澤 碧
- 瀬川 晃+中村 駿
- 瀬川 晃

## 本展覧会に関するお問い合わせ

公益財団法人 大垣市文化事業団 <http://www.og-bunka.or.jp/>  
 〒503-0911 岐阜県大垣市室本町 5-51 X(旧 Twitter) / @ogaki\_bunka  
 Tel.0584-82-2310 Fax.0584-82-2305 Mail. arts-sec@og-bunka.or.jp  
 担当 / 事業課 事業係 係長:西田 係:早崎